

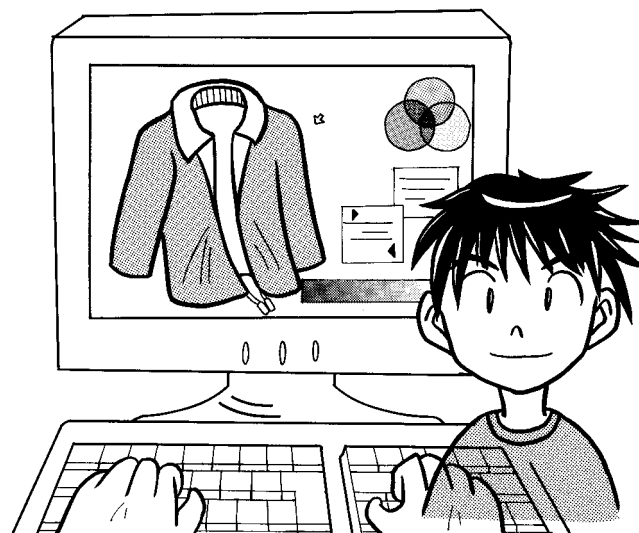
色彩感覚の数量化に基づくスポーツウェア デザイン支援システム開発の試み

研究代表者 京都工芸繊維大学 佐藤 哲也
解説 宮本 武明

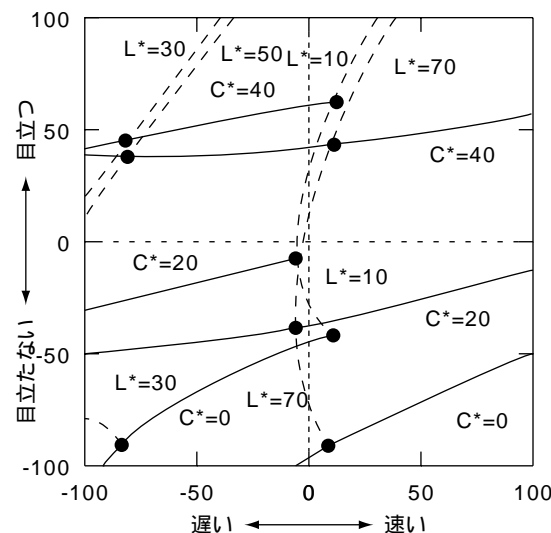
私たちは、色からいろいろな印象を受けます。では、スポーツウェアにはどんな印象の色がよいのでしょうか？

この研究では、人間の色の感覚を測る物差しを作り、コンピュータ画面への表示を試みています。具体的には、まず最初に、スポーツウェアに使われる色の印象を表現する言葉を調べ、重要と思われる印象を16種見つけています。そして、この色から受ける16種の印象を光の量を基盤とした数値にして、その印象の程度を知る物差しを作っています。さらに、この物差しを使って、コンピュータ画面にその色の印象を表現する方法を開発しています。これによって、色を測る機械を使えば、たとえば、速く感じる程度、若々しさを感じる程度などを知ることができるようになります。また、スポーツウェアにどんな色がいいのかをデザインするとき活躍するコンピュータ・デザイン・システムの基本モデルも提案しています。

この方法を応用すれば、デザインだけでなく、私たちがコンピュータ画面から希望するイメージのスポーツウェアを直接買えるようになるかもしれません。



色の印象をコンピュータ画面に表現し、スポーツウェアに適した色でデザインする。



この図は、私たち人間が色から受ける速さと目立ちの印象と、実際の色との関係を表しています。この研究では、この図はコンピュータ画面上で色が付けられ、速さと目立ちの印象の変化を実際にグラデーションとして見ることができます。